

「次世代郊外まちづくり」とは？

人口減少社会、高齢化社会を迎える大都市郊外部の「既存のまち」における様々な課題の解決を住民、行政、大学、民間企業が協力して「次世代のまちづくり」に繋げていくプロジェクトです。



当日のプログラム

1 トークセッション

「次世代郊外まちづくり」は、横浜市が国に選定された環境未来都市の取組みの一つにも位置づけられています。環境未来都市推進ボードの一員で、次世代郊外まちづくりのキーパーソンでもある秋山弘子特任教授と、横浜市 鈴木伸哉副市長が、産・学・官・民が連携したまちづくりの必要性や次世代郊外まちづくりに期待することについて、熱く語ります。モデレーターは、住民創発プロジェクトで講評委員として様々な場面でご活躍いただいた小泉秀樹教授です。

対談



環境未来都市推進ボード、
東京大学高齢社会総合研究機構

秋山 弘子 特任教授

あきやま ひろこ

イリノイ大学でPh.D(心理学)取得、米国の国立老化研究機構(National Institute on Aging)フェローなどを経て、現職。ジェロントロジー(老年学)を専門とし、近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりにも取り組む。



横浜市
鈴木 伸哉 副市長

すずきのぶや

東京大学工学部卒業後、横浜市へ入庁。都市計画局、建築局などの職務を通じ、一貫して都市計画やまちづくりに携わる。近年では、みなとみらい21計画や横浜駅周辺の再開発にかかわり、2012年より現職。

モデレーター



東京大学まちづくり研究室

小泉 秀樹 教授

こいずみ ひでき

東京大学大学院博士課程修了、東京理科大学助手、東京大学講師・准教授を経て、2013年から現職。博士(工学)。まちづくり、コミュニティ・デザインを専門とし、都市住宅学会論文賞ほか受賞多数。

2 自宅生活応援団! 医療と介護のつながり

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療・介護連携を軸とした地域包括ケアシステム「あおばモデル」の取組みを、次世代郊外まちづくりのリーディング・プロジェクトの一つとして進めています。

今回のフォーラムでは、「あおばモデル」について事例を元に、ロールプレイでわかりやすく解説します。



3 次世代へつながる、 新しい郊外のまちづくり

2013年に発表した「次世代郊外まちづくり基本構想2013—東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン—」に基づき、これまで取り組んできたリーディング・プロジェクトの成果や、次世代郊外まちづくりの今後の展開について発表します。

2015年リーディング・プロジェクト

- 1 地域のエリアマネジメントに向けた仕組みづくり
- 2 地域のエネルギーマネジメントに向けた仕組みづくり
- 3 まちぐるみの保育・子育てネットワークづくり
- 4 地域包括ケアシステム「あおばモデル」パイロット・プロジェクト
- 5 住宅団地・社宅等の再生と商店街と連携したまちの賑わいづくり
- 6 公的資源の新たな活用の仕組みづくり